

第11回「長寿社会における中高年者の暮らし方の調査」 調査に関するご説明

(調査に関して、よくあるご質問とその回答についてまとめました)

1 「長寿社会における中高年者の暮らし方の調査」とは

- ◇ この全国調査は、東京都健康長寿医療センター研究所(旧 東京都老人総合研究所)が、米国・ミシガン大学や東京大学と共同で、1987年(昭和62年)から3～6年ごとに実施してきたもので、今回で11回目となります。



プロジェクトの歴史やこれまでの研究成果につきましては、調査のホームページで紹介しております。



<https://www2.tmig.or.jp/jahead/>

2 調査の対象は?なぜ自分が選ばれたのか?

- ◇ 第11回調査は、過去にこの調査に1回以上ご協力いただいた方が対象です。
- ◇ 何年の調査から参加したかは、対象者によって異なり、1987年、1990年、1996年、1999年、2012年、2021年のいずれかになります。
- ◇ 調査地域は全国です。初参加時に60歳以上だった方が、住民基本台帳より無作為に選ばれました(層化二段抽出法)。今回の調査の対象者には、1916年(大正5年)から1961年(昭和36年)生まれの方が含まれます。

3 調査の目的は?結果はどのように利用されるのか?(その1)

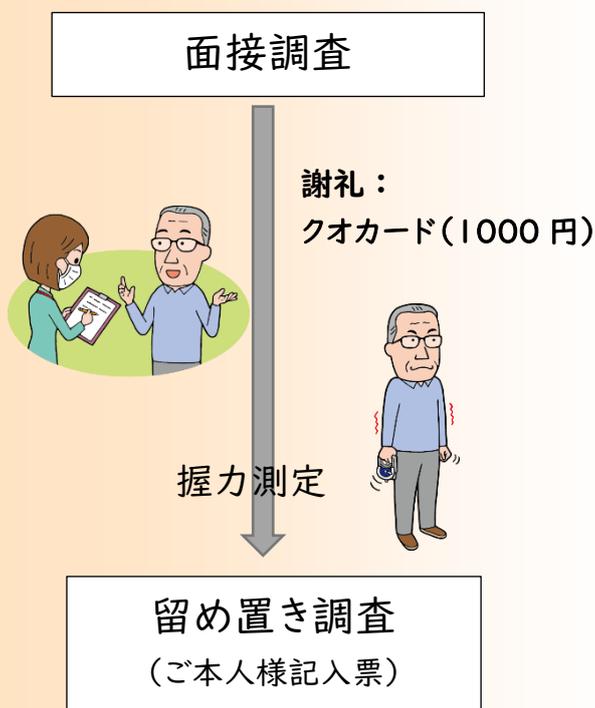
- ◇ 健康に関する事柄を中心に、社会とのつながりや暮らしむきなど、さまざまな事柄についてうかがいますが、過去の調査結果との比較によって、日本の中高年者がどのように変化しているかを明らかにし、時代的变化をふまえた政策提言につなげたいと考えております。新型コロナウイルス流行の影響も検討します。
- ◇ 同じ方を繰り返し調査するパネル調査(縦断調査)の手法を用いることで、60歳以降の健康や暮らし方の変化のようすや変化の理由を明らかにし、健康維持の秘訣を科学的に明らかにしていきます。
- ◇ 得られた調査データは、個人を特定できない形での集計や、統計解析のみをおこない、学術集会や論文等を通して結果を公表します。

3 調査の目的は？結果はどのように利用されるのか？（その 2）

- ◇ ご協力いただいた方には、後日、調査結果をまとめた冊子をお送りします。これまでの調査で公表した冊子については、すべて調査のホームページ (<https://www2.tmig.or.jp/jahead/>) でご覧になれます。
- ◇ 本研究は、国の科学研究費（科研費：課題番号 23H00063）の助成を受けており、研究成果報告書は、後日、科研費のホームページ上で公開されます。
- ◇ 匿名化された調査のデータは、将来的には、より多くの研究者が分析できるように、東京大学の SSJ データアーカイブ (<https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/>) 上で公開され、貴重なデータの保存に努めるとともに、研究者の育成・学術研究の発展に役立てられます。

4 調査の実施方法・内容は？どのくらいの時間がかかるのか？

調査の流れ



【面接調査】

- ・ 調査員が質問文を読み上げます。質問により、直接お答えいただくものや、選択肢が示されたカードを見ながら、当てはまる番号をお選びいただくものがあります。
- ・ **主な質問内容**: お仕事や家族の状況、友人・近隣とのおつきあい、健康状態など
- ・ 面接の最後に、握力測定をお願いします。
(腕に痛みがある場合などはおこないません)
- ・ **所要時間**: 人によって差が大きいのですが、平均すると 40~50 分くらいです。

【留め置き調査】

- ・ 面接調査終了後、ご自身でご記入いただくためのアンケート調査票をお預けし、受け取りにうかがう日時のご都合をお聞きます。
- ・ **主な質問内容**: 家庭内外での様々な活動に関する参加状況や意識、くらしむきなど
- ・ **所要時間**: 記入にかかる時間は人によって差がありますが、だいたい 20~30 分くらいです。

5 必ず協力しないといけないのか？プライバシーは守られるのか？

- ◇ 調査に協力するか否かは、皆様の意思が尊重され、お断りいただいても皆様の不利益になることはありません。
- ◇ 調査項目には家族構成や収入など、プライバシーに関わる内容も含まれますが、協力をお引き受けいただいた場合でも、ご自分の不利益になると思われる質問には、無理にお答えいただく必要はありません。
- ◇ ご記入をお願いする留め置き調査（前ページの 4 を参照）では、封筒も一緒にお渡ししますので、封をして調査員に渡すことができます。
- ◇ データは個人のお名前とは切り離して統計的に処理しますので、プライバシーは保護され、ご回答内容がほかにもれることは絶対にありません。
- ◇ 調査の実施にあたっては、東京都健康長寿医療センター研究倫理審査委員会より許可を得ております（整理番号：R24-033）。

6 宛名の方ご本人の体調が悪く、回答できる状況にない

- ◇ ご迷惑をおかけして申し訳ありません。一時的な体調不良の場合は、時期を改めて、うかがわせていただきます。
- ◇ 健康上の理由で、ご本人様が面接調査にご回答いただくことが難しい場合は、その方のご様子に詳しいご家族などに、一部の項目について、ご本人様に替わってお答えいただくための代行用調査票を用意しています（所要時間：15分程度、謝礼：500円分のクオカード）。

7 調査に協力してもよいが、曜日や時間を、あらかじめ指定したい

- ◇ お手数をおかけして大変恐縮ですが、調査員を管理する中央調査社にお電話いただくか（電話番号 0120-48-5351）、調査員がお訪ねした際に、ご希望の日時をお伝えください。

8 10月中は予定があり、調査に協力できない

- ◇ 訪問時期を遅らせることもできますので、ご相談いただけますと幸いです。

9 感染症のための対策は？

- ◇ 調査員の検温と体調確認を徹底しており、調査員は随時手指の消毒をおこなっております。また、マスク着用のため、お聞き苦しいことがあるかもしれませんが、どうぞご了承ください。
- ◇ ご自身や身近な方にコロナなどの感染が疑われる症状（発熱、咳・倦怠感など）が見られる場合は、日を改めて訪問いたしますので、調査員にお伝えください。

10 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センターとは

- ◇ 当センター研究部門の前身である「東京都老人総合研究所」は、1972年（昭和47年）に、都立の研究所として設立され、老化・老年病などに関する基礎科学的・医学的研究と、高齢者や高齢社会に関する社会科学的研究の両方をおこなう老年学の総合研究所として、国内外から高い評価を受けてきました。
- ◇ 2009年（平成21年）4月に、同じ敷地内（旧養育院）にある東京都老人医療センターと一体化し、医療と研究の両方の機能をもつ、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターとなりました。

当センターのホームページ

<https://www.tmghig.jp/>



養育院初代院長
渋沢 栄一 の銅像

お問い合わせ先

○調査の実施に関するご質問やご連絡

一般社団法人 中央調査社

〒104-8179

東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル

電話：0120-48-5351（フリーダイヤル）



一般社団法人 中央調査社は、
（一財）日本情報経済社会推進協会の
「プライバシーマーク」の認定を受けております。
統計調査の実施にあたっては、個人情報保護
方針にしたがい、情報の管理を徹底いたします。

○調査の趣旨や内容についてのご質問

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 研究所

社会参加とヘルシーエイジング研究チーム（担当：小林、竹内）

〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2

電話：03-3964-3241（内線4258）（平日9～17時）

メール：jahead@tmig.or.jp

